

# 国際ホテル旅館

INTERNATIONAL HOTEL MANAGEMENT 2017.1/20 第396号

## ホテル・旅館経営を応援する情報紙

発行所:国際ホテル旅館  
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-11-1  
GINZA GS BLD.2-7階 (株)ブライダル産業新聞社内  
発行人:米谷美咲 年間購読料10,800円(消費税込み)  
TEL 03(5537)8661 FAX 03(5537)8533  
http://www.bridalnews.co.jp

### 新規購読の申込み方法

電話又はFAXで◆部数◆住所◆会社名◆御担当者名◆電話番号を当社まで申し込んで下さい。最新刊の新聞と購読料請求書、契約内容を書いた簡単な書類をお送りします。

### 広告出稿に関して

当社まで御連絡下さい。本紙媒体資料広告料金表をお送りします。

# 地域の観光拠点になるホテルを目指す

## ノブレスグループ 大阪市大正区に開業「ホテルソビアル」

▶国内外の旅行者が安心して滞在できるホテルを(上:客室 下:大浴場)



大阪市大正区に初のホテル出店です。どういった経緯で出店を決めたのでしょうか。

川井 当社は、東梅田の宿泊特化型ホテル「ホテル関西」を運営しています。大阪はインバウンド旅行者の増加によって宿泊施設の客室が足りないと言われており、ホテル関西も好調が続いていました。そこで、市内の拠点を増やしたいと考え、用地を探していたところ今回の大正駅近くの物件に出会いました。

大正区長の筋原章博氏は「大正区で初の宿泊特化型ホテルの誕生を旅行者誘致の起爆剤」として歓迎しています。出店の決め手は、川井 大正駅の周辺にはこれまでホテルがありませんでしたが、当初から有力な候補地の一つでした。JR環状線と大阪市営地下鉄が乗り入れ、京セラドーム大阪や心斎橋などへは直通でアクセスできます。USJやなどは、梅田など、市内の主要観光スポットへも行きやすい立地です。近隣にある「京セラドーム大阪」には年間200万人が来場するそうです。プロ野球

関西を中心に、ホテルや観光施設を展開。地域の特性や歴史など、その地ならではの「ストーリー」に沿った開発・運営で、施設や地域の活性化に寄与してきたノブレスグループ(奈良県奈良市)。同社グループの「ホテル関西」は、大阪市大正区に区内初のホテル「ホテルソビアル」をオープンした。グループ代表の川井徳子氏に聞いた。



代表 川井徳子氏

の試合のほか、人気のアイドルグループやミュージシャンによるライブなどが年間を通じて行われ、まさに大阪を代表するイベント会場となっています。

こうしたイベント参加者・来場者の多くは、大正区内を通過して他の区や町へと移動してしまっていました。こうした方たちが大正区に立ち寄り、足を留める拠点として、当ホテルへの期待は非常に高いと感じています。

また、大正区は工業地域で、古くは原料や製品の搬出入拠点として栄えたそうです。その名残から、現在も多くの物流会社が大正区内に拠点を構えています。こうした企業や事業所への来訪を目的としたビジネス需要も見込めるともしています。

そして、何よりも外国人旅行者の皆さんにとっては、関西空港から移動しやすく、市内の主要観光スポットへのアクセスも良好です。外国人の皆さまにも安心してご利用いただけると思います。

大阪は新規ホテルの開発が活発です。インバウンドをターゲットの1つに据えると、競合も激しくなりそうです。

川井 ホテルソビアルは、当初からターゲットを「日本を含むアジアの女性旅行者」と想定して計画しています。館内の設計も1人1泊6000円、2人泊の場合は1万2000円程度の宿泊料金で提供することから計画しました。日本人の女性旅行者にもご利用いただけるように、日本人的な女性旅行者にもご利用いただけるように、大阪を訪れる来場者の中

に、ライブ鑑賞を目的とした女性が一定の割合でいますが、ドームの近くに女性の皆さんが安心して泊まれる宿が少ないのではないかと考えました。当ホテルは、こうした方たちがライブと一緒に参加したお友だちや家族などと寛げるような空間づくりを意識しました。

男女別の大浴場を備えた一方、客室の水回りは極力シンプルにして、また、客室ではトイレと洗面台を同時に使えるよう、分離型のユニットバスを採用しています。大浴場にはさまざまなメーカー・ブランドのシャワーヘッドを用意して、自由に選べる「シャワーバー」を採用しました。

フロントでは、ロボットのスタッフの「ナニ」がお客さまをお迎えするなど、「遊び心」を取り入れたサービスでお客さまの「遊び」旅を盛り上げます。この想いは、「ソビアル」というホテル名としても表現しました。

また、日本から近いアジアの方たちの間では、訪日旅行を2回・3回と繰り返すリピーターが増加傾向にあると言われていています。実際、閑空などでLCCが普及している様子などをみていると、訪日旅行が手軽になっていくと感じています。

宿泊料金に基づいてホテルを計画したのはこうした層のお客さまに利用いただくためです。渡航費を含めてもリーズナブルな料金設定で、ぜひリピーターのお客さまにもご利用いただきたいと思っています。